

さいたまシルバー



埼玉県警察
岩槻高齢者講習センター

埼玉県警察
岩槻高齢者講習センター

Content

- 2 理事長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 定時総会
- 8 会員紹介
- 9 お客様の声
- 11 地域班
- 12 親睦互助会
- 14 女子会だより
- 15 安全だより
- 16 事務局より・編集後記

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**
 〒330-0801
 埼玉県さいたま市大宮区土手町 1 丁目 213 番地 1
 さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内
 Tel : 0 4 8 - 6 6 9 - 0 3 0 3
 Fax : 0 4 8 - 6 6 9 - 0 3 0 5

<https://saitama-sjc.or.jp/>

さいたま市シルバー





定時総会挨拶

公益社団法人

さいたま市シルバー人材センター

理事長 佐伯 鋼兵

皆様、こんにちは。本日はたくさんの会員の皆様にご出席をいただき、ここに令和6年度定時総会が盛大に開催できますこと、御礼を申し上げます。また、ご来賓の皆様におかれましては公務ご多忙中にもかかわらず、さいたま市長清水 勇人様、さいたま市議会議長帆足 和之様、公益財団法人いきいき埼玉副理事長影沢 政司様、さいたま市福祉局長寿応援部長兼山 和夫様には、ご臨席を賜り心より感謝申し上げます。

さて2019年に新型コロナウイルス感染症が初めて報告されてから5年ほど経過いたしました。健康で安全に日常生活が送れること、また、家族や友人とのつながりが、なにより大切であるとあらためて実感されている方も多くいらっしゃると思います。しかしながら、現状は地域住民同士の絆の希薄化、仲間同士で物事に取り組むというような団結力が弱体化し、特に高齢世代はコミュニティから孤立してしまう傾向にあるため、不安を感じている方もいらっしゃると思います。

人生100年時代を迎え、年齢を重ねても働きたい、いきいきと生活したい、地域に貢献したい、仲間と交流したいといった高齢者の声に応えるため、当センターへの期待はますます大きくなっていると感じています。地域の高齢者がいつまでも活躍できる「居場所」として、当センターが地域社会の中心となるよう存在感を発揮し事業を展開してまいります。

また、会員のおひとりおひとりが安全に安心して就業できるよう、事故の撲滅を図ることも大きな課題となっております。日々、事故を起こさないという心掛けや仲間同士の声掛けが皆様の安全や健康にもつながっております。さらに安全委員会で発行している「安全のしおり」を常に携帯いただき、引き続き事故ゼロを目指して、皆様のご協力とお心掛けをお願いいたします。

今年度はシルバー人材センターを取り巻く環境も大きく変化いたします。秋には「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」の施行により契約方法の見直しをはじめ、そのために必要不可欠となるデジタル化への移行など取り組むべき課題も多くございます。当センターにおきましてはさいたま市をはじめ、地域との連携を更に深め、他の団体や関係機関と協力しながら情報の共有や相互交流の促進を通じて、より良い組織へと成長していくための努力を継続してまいります。

引き続き会員の皆様にはご支援とご協力をいただきながら、センター役職員も一丸となりまして事業を進めてまいりたいと思っております。

結びに、今後のシルバー人材センター事業の益々の発展とご臨席を賜りましたご来賓の皆様はじめ会員の皆様のご健康とご活躍を心からご祈念申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。



定時総会挨拶

さいたま市長 清水 勇人

皆様こんにちは。ただいま御紹介いただきました、さいたま市長の清水勇人です。

今日は公益社団法人さいたま市シルバー人材センターの令和6年度定時総会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

佐伯 鋼兵理事長をはじめ、さいたま市シルバー人材センターの皆様方には日頃より、市政全般にわたる格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、本日表彰を受けられる皆様におかれましては、長年に渡りシルバー人材センター事業の推進に御尽力いただき、心から敬意を表しますとともにお祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、我が国は生活環境の向上や医学の進歩により平均寿命が伸び続けており、世界有数の長寿国となりました。しかしその一方、家族形態の変化やライフスタイルの多様化に伴い健康リスクが増大しており、健康増進に関する取組の重要性がより一層高まっています。

こうした中、本市では社会環境の変化や新たな課題等に対応するため、令和6年3月に「さいたま市健康づくり計画」を策定しました。本計画を推進していくことにより、生涯途切れることのない健康づくりを支援するとともに、市民の皆様が身近なところで気軽に健康づくりに取り組むことができる環境整備を行ってまいります。また、地域の社会的なつながりや信頼関係の強さといったソーシャルキャピタルの向上を目指し、市内の各地域における組織や団体など

が連携するネットワークづくりを支援してまいります。

健康づくりにより健康寿命の延伸や生活の質向上を実現することは、活気あふれる地域社会の形成に向けた重要な要素であり、本市が持続可能な成長・発展を継続していくためには市民、関係機関、事業者の皆様、そして市が一体となって健康増進に関する取組を推進していく必要があると考えております。本日お集まりの会員の皆様には、是非すこやか運動教室等の介護予防事業や健康マイレージといった本市事業に御参加いただき、健康を意識した生活をお過ごしいただければと思います。

また、地域社会において皆様がお持ちの豊かな知識や経験、能力を発揮していただき、いつまでも健康で、いきいきとご活躍いただくことを御期待申し上げます。そしてシルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様生きがいを持って活動することができる機会を創出するとともに、生涯現役で輝くことができる場を引き続き提供されることを期待しております。

本市といたしましても、このような重要な役割を担われるシルバー人材センターと連携して、高齢者の皆様方の社会参加を支援してまいりますので、今後とも御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、さいたま市シルバー人材センターのますますの御発展と、会員皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

令和6年度定時総会

令和6年度定時総会が6月19日(水)、南浦和駅西口 さいたま市文化センター大ホールにて開催されました。

当日の出席者は369名、委任状と合わせ3,191名の出席となりました。

司会を岸田 千代子会員が務め、佐伯理事長の挨拶に続き、ご来賓のさいたま市長清水 勇人様、さいたま市議会議長帆足 和之様、公益財団法人いきいき埼玉副理事長影沢 政司様から祝辞をいただいたほか、さいたま市福祉局長寿応援部長兼山 和夫様にご臨席いただきました。

その後、佐伯理事長より会員表彰、安全表彰及び退任役員表彰をおこない表彰状が授与されました。

引き続き総会に入り、議長に島村 京一副理事長が選任されました。

報告事項として、令和5年度の監査報告が監事より報告され、続いて理事が令和5年度事業報告をおこないました。

また決議事項として、令和5年度計算書類等の承認および役員の選任について理事が説明のうえ審議され、いずれも承認されました。

決議事項に続き、その他の報告事項として、理事より3月の理事会で承認された令和6年度事業計画及び令和6年度収支予算について報告をおこないました。

審議終了後に新任役員が壇上に上がり、就任のお披露目をさせていただきました。

引き続き、会員によるアトラクションが行われ、歌、マジック、漫談、オカリナ演奏、詩吟、踊りと多彩な芸を披露しました。

最後にお楽しみ抽選会を行い、佐伯理事長が壇上で抽選くじを引き、1等から5等まで当選した方に豪華景品が贈られました。また多くの方にお米一袋が贈られました。

以上で令和6年度定時総会は盛況のうちに閉会しました。

議長を務める島村副理事長



挨拶をする佐伯理事長



ご来賓の皆様



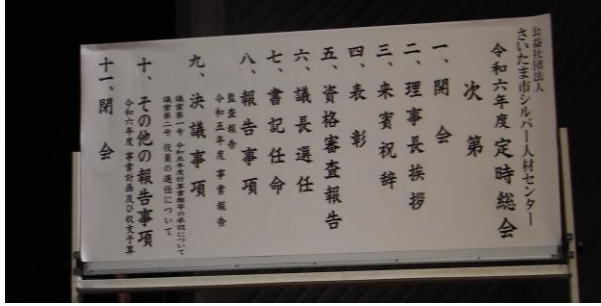
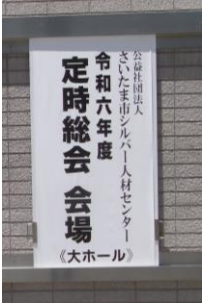
公益財団法人いきいき埼玉副理事長 影沢 政司 様



さいたま市長 清水 勇人 様



さいたま市議会議長 帆足 和之 様



議案を説明する理事



新任役員お披露目



抽選をする理事長



アトラクション出演者勢ぞろい

令和6年度 事業計画

1 会員の拡大

さまざまなセンター活動を通じて健康を維持し、いつまでもいきいきと活躍できる場を充実させ、仲間を増やします。

2 就業の場の確保

一人でも多くの会員の希望に沿った就業提供に努めるほか、発注者の多様なニーズに対応できる体制を整えます。

3 安全・適正就業対策の推進

就業中の事故「ゼロ」を目指すとともに、適正で公平な就業を推進します。

4 運営体制の強化・充実

さまざまな環境の変化に対応し、社会の期待にも応えられるよう、組織や財政基盤の安定に努めます。また、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づく会員組織となるよう組織や体制を充実させます。

会員表彰者



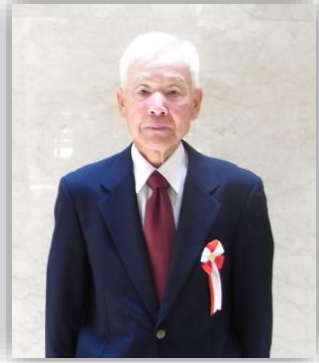
安達 克己さん



隈崎 トモ子さん



加藤 時夫さん



北村 定男さん



落合 ^{つぐお} 詔夫さん

会員表彰者（安全表彰）



岩下 ^{まさみ} 政三さん



山根 和雄さん



藤原 ^{ふじはら} 利春さん



笠原 和男さん

役員表彰者



増田 彰三 前理事



津野 武文 前理事



相馬 妙子 前理事



地主 英夫 前監事

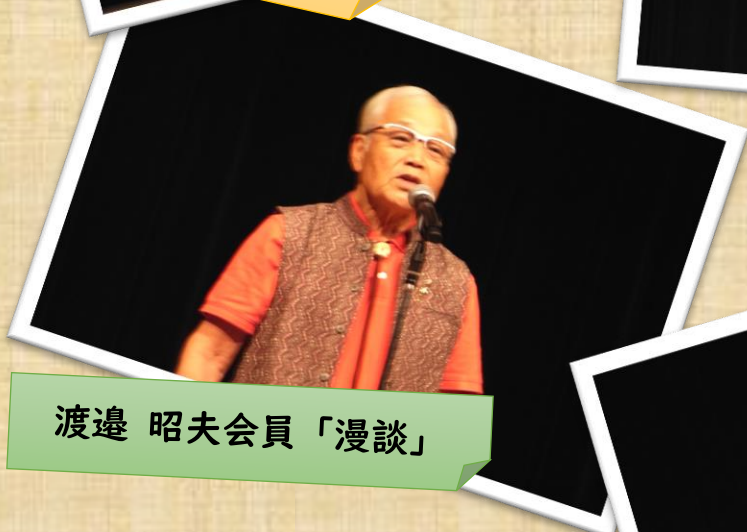
総会終了後のアトラクション



実原 寿子会員「歌」



鈴木 清会員「マジック」



渡邊 昭夫会員「漫談」



古川 栄子会員「オカリナ演奏」



矢板橋 あきお 詔夫会員「詩吟」



三品 信子会員他「岩槻音頭」

趣味の場は仕事の場

大砂土東公民館で趣味のクラシックギターのレッスンに通っていたところ、公民館職員が帰館した後も働いている人がいて、一寸興味がわきました。聞いてみるとシルバーの会員とのことでした。早速シルバーに入会し、適正就業場所である大砂土東公民館に応募しました。抽選は補欠でしたが、欠員があって就業することになりました。と就業の経緯を語ってくれた石森さんでした。

公民館管理業務は就業時間が原則夜間なので女性は珍しいと聞きましたが、石森さんは、人と触れ合う仕事が好きなので気になりません。しかし急病人などいざといった時、救急救命講習は受けていますが女手一つでやれるか不安です。でも公民館利用者と協力すれば何とかやれるでしょう、と笑っていました。

就業中に近所で徘徊者騒動があり発見者が、公民館に援助を求めてきたことがあります

コミュニケーションをとることが元気の源！

桜区白楸にお住まいの大竹榮さんにお話を伺いました。印刷会社を定年退職となり、娘さんの薦めで平成 22 年の 4 月に会員とされたそうです。その年の 6 月から、同一業務で現在まで継続されています。内容は月、水、金の週 3 日、自転車で固定顧客を訪問し、アンケート調査とチラシの配布が仕事です。1 年に 1 回のサイクルで顧客宅を訪問する。最近は一人住まいの方も多くなったことから安否確認もかねているようです。訪問コースは大宮区、桜区から川口方面など広範囲です。就業は、朝 9 時から 12 時までの 3 時間、そのため、訪問件数は 6 から 7 件程度。

1 コースの訪問が終わり次第アンケート調査票を集計、そして提出、それでワンクールが終了。

就業中での注意点は交通事故と言われまし

会員紹介

大宮会員 石森 京子さん

した。その時「近くに公民館があって良かった」と言われた言葉が心に残っています。そんな場所で就業できて幸せです。とも話してくれました。



ところで、趣味のクラシックギターは 40 年のキャリアだそうです。大砂土東公民館での活動に止まらず、ボランティアとして近隣の施設を慰問したり、大宮第二公園梅まつりを企画したり、自分へのご褒美として年 1 回りサイタルをやったりと、セミプロ級の腕前とお見受けしました。最近はパークゴルフにも熱中していると言う、仕事に趣味に元気に活躍する石森さんでした。

(取材・後藤編集委員)

会員紹介

浦和会員 大竹 榮さん

た。又、自転車で移動のため雨天の日は就業を休止して、他曜日に就業しているそうです。営業の経験から「今の仕事が性にあっていと思うので出来るだけ永く就業したい」と言われました。



他にはボランティア活動などに参加。地域の班長は 12 年、今年の 3 月まで務められたそうです。以前はゴルフとスキーが趣味でしたが、今は仕事をする事で日々元気に過ごせるし、それが目標と生きがいと言われました。そして会員の旅行と互助会活動も楽しみであり参加できることと、一番は家族に感謝です。

(取材・吉川編集委員)

87歳とは思えない

アクティブな日々

「さいたま市営けやきひろば自転車駐車場」は、その名の通り「けやきひろば」の真下にあります。1階が350台（定期利用で250台分、当日預かりで100台分）、地下が240台というビッグスケールの有料駐輪場に就業されています。就業時間は6:00～15:30ですが、忙しいのは通学・通勤時間となる7:00～9:00。万一お客様とのトラブルなどが無いよう言葉使いをはじめとして丁寧に預かり業務をこなしています。8人でローテーションを組み、月に13～15日働いています。

現在87歳ですが、元気いっぱい！駐車場の無い職場へは自転車で通っていますが、それ以外はマイカーを盛んに運転されるなど、とてもアクティブな毎日を過ごされています。ご夫婦での旅行をはじめとして趣味なども多彩。

奥様と始めて10年以上になる家庭菜園で

は夏野菜を中心に栽培中。また友人との情報交換を兼ねての会食なども週1～3回ほど。

さらにシルバーの同好会に参加し

月1回のカラオケ会（取材当日の午後も開催されるとか）、年2～3回のハイキング会、親睦互助会のバス旅行（今年は11月に予定）など、「健康のためにもいいから」と積極的に活動されているようです。

ちなみにシルバーに入会したのは16年ほど前で、これまでに高校の図書館、与野駅の駐輪場の仕事も経験しました。現在、シルバー中央区第三地域3班の班長もしています。

（取材・小野塚編集委員）

会員紹介

与野会員 うたしろ 歌代 一夫さん



主役は園児一人ひとり

街なかにぼっかりと武蔵野台地の面影が残る雑木林。吹く風がひんやりと感じられます。その一画約2千坪の敷地に佇む園舎。ここが小百合幼稚園です。園長の高橋 修人まさひとさんにお話を伺いました。

小百合幼稚園はカトリック・ミッションスクールです。他人を認め対話の出来る子、円満な社会性を備えた子、あたたかい思いやりのある子に育つように愛の精神の中で保育しています。

教育方針として、具体的には4歳児・5歳児といった年齢による横割りではなく、3～5歳児を一緒にした縦割りクラス編成としています。約20人を1クラスに80人ほどが学んでいます。また先生が園児に教える方式ではなく、園児一人ひとりの個性に応じて、自ら興味のある分野を獲得することを目指しています。その為の教具、教材などが豊富

お客様の声

小百合モンテッソーリ学園 小百合幼稚園 様

に準備されています。異年齢どうしのコミュニケーションも自然に生まれます。ところで広い園内の樹木の枝おろしなどの環



境整備にシルバーに男性1名の就業をお願いしました。次いで保育補助に女性2名、更に園内清掃などに女性4名（ローテーション）をお願いしました。もともとこれらの仕事は職員がやっていたので、職員は本来の仕事に専念でき大助かりです。シルバーの皆さんは全員明るくて能動的、園児達には職員にもまして慕われています。園長先生の熱いお話に時の経つのも忘れる取材でした。

（取材・後藤編集委員）

出会いの1歩は挨拶から 「礼に始まり礼で終わる」

さいたま市浦和区のマンションが多い住宅街に位置する浄土宗本願寺派 最勝寺若坊守（わかぼうもり）中川恵理様からお話を伺いました。

お経の言葉は現に苦悩を抱えて生きている人々に向かって開祖親鸞聖人が説かれたとのこと。「シルバー人材センターのことを知ったのは20年前とのこと、それまでは専門業者に委託をしていました。しかしその業者は別業者へ委託するシステムのため、コスト面も作業面でもこちらの希望通りとはいかなく悩んでおりました時、シルバー人材センターの内容を知って問い合わせたのがきっかけとなりました」

会員が就業するのは緑区にある別院。就業内容は、「作務衣での除草、清掃、門徒式章（もとしきしょう）をつけてのお檀家さんへの

お客様の声

最勝寺 中川 恵理 様

接客、特に繁忙期（お彼岸、お盆）には9時から17時で2名から3名、通常は9時から16時30分の時間帯を1名のスケジュールで組んでもらっています」とのことです。

その中で業務に関しては、「会員のペースで作業を進めてもらい特に制約はしないのが基本方針です」と言われました。「お檀家さん、参拝者とのトラブルもなく逆にいつも綺麗にさせていただいてとお礼と感謝の言葉をいただく次第」と会員の就業姿勢にお褒めの言葉をいただきました。

（取材・吉川編集委員）



「また来たい！」と思う 児童センターを目指して！

さいたま市岩槻区本町にある岩槻児童センターの小久保所長をお訪ねし、お話を伺いました。素敵なステンドグラスがあり、さいたま市内ではプラネタリウムがある唯一の児童センターです。「すべての子供、青少年、子育て家庭が地域とともに笑顔で育ち合える児童センターを目指す」という基本理念のもと所長を始めとする職員の方々が一丸となって取り組まれていました。

乳幼児、小学生はもちろん中高生の居場所にもなっており、さいたま市内で一番、中高生の利用者数が多いそうです。「利用者の方々が楽しく過ごし帰る時に、また来たいと思う場所にしたい」という所長のお気持ちが表れているようです。他の職員さんたちもやさしく包み込むように利用者の方々を見守

お客様の声

岩槻児童センター 様

っておられるようでした。シルバー会員の仕事は週に4日、午前9時～12時まで、館内外の清掃。2人で1日ずつの交替制。

所長からは「窓枠や棧の細かい所まで、掃除し、利用者さんが怪我をしないように不具合にも気づいて教えてくれるのはありがたい」。また他の職員さんからも「利用者の方への挨拶や声がけなど、スタッフとしての自覚がある」など、お褒めの言葉を頂きました。「これからも無理せず頑張ってください」とのことでした。（取材・徳永編集委員）



沢山の仲間の参加を

西区は第一地域と第二地域に分かれていますが、伝統的に両地域合同で活動しています。年2回の地域会議と奉仕活動、毎年開催される区民まつりの参加等が主な活動となっています。西区シルバー人材センター親睦会のサークル活動として「グラウンドゴルフ」と「手打ち蕎麦クラブ」があります。「グラウンドゴルフ」は毎月第2日曜日の午後から、地元の宝来グラウンドゴルフ場で仲間が集まり、プレーを楽しんでいます。全くの初心者でも、グラウンドゴルフ地区大会などで優勝経験のあるベテラン会員の親切な指導を受けて、その日のうちにホールインワンを経験するほどの腕前になります。

「手打ち蕎麦クラブ」は、毎月第4日曜日

西区第一地域 荒川 義一

に大宮ワークプラザで、蕎麦打ちをしています。打ち終えた蕎麦はその場ですぐに茹で、みんなで食べながら蕎麦の出来具合について和気藹々と話し、月に1回の集まりを楽しんでいます。腕前は、初心者からプロに準ずる人まで様々ですが、初めての方でも楽しく活動できます。どちらのサークルも随時、会員を募集していますので、たくさんの仲間の参加をお待ちしています。



鶴寿会で百歳体操

岩槻区第一地域では会員のフレイル予防を目的とし 2020 年から百歳体操を実施しています。実施前年にさいたま市のいきいきサポーター養成講座を受講した高橋 清会員と綾部 瑞江会員、そして私小泉、当時の鶴川所長で鶴寿会を立ち上げました。

岩槻城が白鶴城とも呼ばれた事から名付けたのです。第一地域以外の会員も含め 30 名、各々に仕事等があるため、曜日を変えて毎週 15 名くらいで実施しています。今では 5 名だったサポーターも 9 名となり活動しています。おもりをつけて手や足をゆっくり上げたり降ろしたりと地味な運動ですが継続は力なりと頑張っています。

2023 年 5 月に行われたグラウンドゴルフ四支部大会では前出の綾部会員が優勝し、

岩槻区第一地域 小泉 武

準優勝も柴崎会員と鶴寿会会員が独占する快挙をやったのけました。毎週開催日の 13 時 30 分からにぎわい交流館いわつきの二階で会員が百歳体操でイチ!!ニイ!!サン!!ヨン!!と元気な声で頑張っています。ちなみに鶴寿会では嚙下が悪くならない対策として四はヨン、七はナナと言うようにしています。



親睦互助会

浦和支部 4年ぶりの日帰り旅行

新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」へと変更になったことを受け、令和5年度は4支部交流グラウンドゴルフ大会(5月24日)、「ひたち海浜公園、大洗水族館と那珂湊お魚市場」の日帰り旅行(5月17日と23日)、岸町公民館展示ホールでの会員作品展(10月23日～27日)、「箱根めぐりと堂ヶ島温泉、三島大社とミカン狩り」の一泊旅行(11月9日～10日)、年が明けての新年懇親会(令和6年1月13日)と、コロナ前と同じように福利厚生事業を実施することができました。

浦和支部には、書道同好会(会員数18名)、グラウンドゴルフ同好会(同31名)、ゴルフ同好会(同25名)、フォトウォーキング同好会(同43名)、ハイキング同好会(同20名)と5つの同好会が有り、毎月楽

浦和支部 畑 佳一朗

しく活動していますが、加えて令和5年度から6つの「互助会サロン」(麻雀同好会、将棋同好会、漢字クイズ研究会、英会話同好会、スマホ教室、俳句同好会)が本格的に活動を開始し、約40人の会員の方にサロンを楽しんで頂いております。

令和6年度も同様に事業を進める計画(旅行は日帰り旅行のみ)で、楽しく活動を続けて親睦を深めてまいります。



定年後 ～第二の人生～

私はこのたび親睦互助会大宮支部長を退任させていただくこととなりました。退任するにあたりシルバー人材センターへの感謝の気持ちをつづらせていただきます。

私は定年前から、定年後は手に職をつけて、シルバー人材センターで働き続けていこうと考えていました。理由は大学時代の友人が市役所を55歳で定年退職後、飯田橋にある高齢者技術専門学校の「ハウスサービス科」に入学、卒業し、シルバー人材センターでバリバリ働いていたからです。高齢者技術専門学校は無料の職業訓練校であり、「ハウスサービス科」は襖・障子・クロスの張替作業を6か月間無料で習うことができました。私はその友人の生き方と同じ道を辿ってきました。

大宮支部 奥田 善七

卒業後、早速シルバー人材センターに登録しましたが、最初はあまり仕事がありませんでした。しかし、少しずつ仕事をする事で認められるようになったのか、段々と仕事が増えていきました。この定年後の選択は私にとって、とても良かったと思っています。手先を動かすことや日曜大工が大好きな私には、ぴったりの仕事であり、屋内作業なので天候に左右されず仕事ができることも良いところです。身に着けた技術で丁寧な仕事をする事で、お客様に喜ばれ、私自身もとても嬉しく楽しい気持ちになります。

年齢や体調のこともあり、最近仕事をしていませんが、とても充実した「第二の人生」をサポートしてくれたシルバー人材センターには感謝の気持ちでいっぱいです。

親睦互助会の活動

皆さんこんにちは。新型コロナが5類に移行されてから早1年。長かった活動自粛も随分緩和されていますが、与野支部恒例の「新年会」は会場の都合で残念ながら今年も中止をすることにしました。そんなことから始まった新年ですが、5月12日(日)に令和6年度「親睦互助会与野支部定期総会」を開催しました。

そして、5月22日(水)には、中央区の八王子サッカー場において「親睦互助会四支部交流グラウンドゴルフ大会」を開催しました。第14回となる今年は、与野支部が担当することになりました。与野支部会員の皆さんは、今大会を成功させようとプロジェクトチームを構成するとともに、役割分担を決め準備に取り組んできました。

当日は、快晴の素晴らしいグラウンドコンディションの中で、安全第一をモットー

与野支部 津野 武文

に、各支部50名のプレーヤーが交流を深めながら日頃の技を競い合いました。与野支部は、この大会の団体戦でようやく4位を脱却し、始めて3位と健闘しました。与野支部には、ほかにも「カラオケ同好会」「ハイキング同好会」「芙蓉の会(手芸)」などがあり、皆さん元気に仲良く活動をしています。そして、10月には「親睦研修旅行」を計画しております。



4年ぶりの新年会

岩槻支部みどり会では4年ぶりに令和6年1月27日(土)に老人福祉センター槻寿苑において新年会を行いました。

コロナの影響で飲食を自粛していたために中止してきましたが、飲食が解禁され実施することができました。

理事、所長の出席もいただき、95名の参加でした。120名の募集でしたが年々参加者が減少傾向にあり、今後のあり方を検討しないといけないのかもしれません。

みどり会ではビール、日本酒、ジュース等を用意しましたが飲み物やつまみなどを持参した方が多くみられました。乾杯のあとそれぞれビール、酒、焼酎などを飲みながら楽しく過ごしていました。なにせ4年ぶりですので飲みすぎた人もいたようでした。

岩槻支部 井村 詩

お楽しみ大福引では商品券2,000円10本、1,000円40本、所長より2名分、手芸班から30名分の賞品をいただき、抽選会を行い、外れた方には参加賞が送られました。

引き続きカラオケ、踊り、演芸など、最後にドンパン会の指導で岩槻音頭を2回踊り解散しました。2時間ほどでしたが皆さん満足そうでした。



女子会だより

女子会とは、さいたま市シルバー人材センターの女性会員自らが主体となり交流の場を設け、会員活動を活発化させることで、女性会員の入会促進、仲間づくりなどにつなげるため実施しているものです。

開催案内は会員ニュースに合わせて配布いたします。多くのご参加をお待ちしております。



お菓子づくり
(2024.3.26 岩槻本町公民館)



ラベンダーバンドルズ作り
(2024.6.27 与野事務所)



素敵に happy シルボンヌ 布で作るネックレス
(2024.2.27 浦和事務所)



フラメンコ鑑賞 (2024.6.21 大宮事務所)

♥ 令和6年度の開催 ♥

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

<浦和事務所>

令和7年2月頃実施予定 内容未定

<大宮事務所>

6月21日(金) 14時から

「フラメンコ鑑賞」(大宮事務所)

<与野事務所>

6月27日(木) 13時30分から

「ラベンダーバンドルズ作り」

(与野事務所)

<岩槻事務所>

令和7年2月頃実施予定 内容未定

安全だより

令和5年度は傷害事故が22件と、過去5年間で最少となりました。一方で、賠償事故は令和4年度の7件から、令和5年度はその倍近い13件発生してしまいました。車両事故は、令和5年度は6件と令和4年度よりも若干減少し、過去5年間で最少となりました。

往復途上や就業中の転倒事故は、傷害事故全体の約41%を占めており、高齢化による集中力の低下や運動機能、体力・筋力の衰えも原因となっていると考えられます。今年度は、身体機能の低下を防ぐため健康体操教室や、起こり得る危険を事前に想像することで事故防止につながる危険予知訓練講習などの安全研修を実施する予定です。

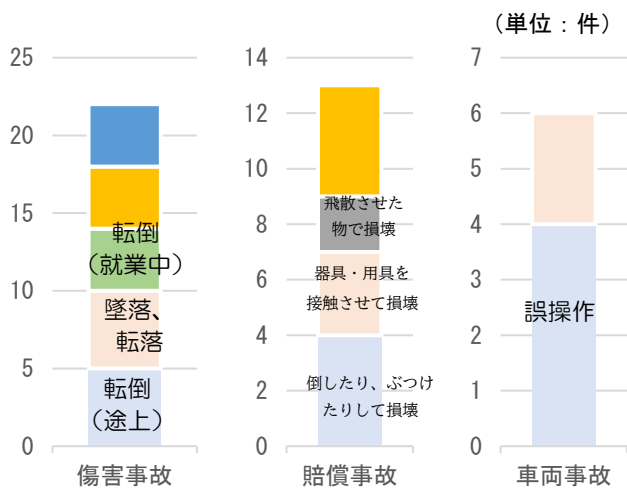
賠償事故全体の件数は令和4年度より6件増加してしまいましたが、刈払機の使用に起因する事故に限りますと令和5年度は2件となり、令和4年度から半減しています。除草・草刈班作業マニュアルや除草安全マニュアルの運用を開始して2年が経ちますが、刈払機使用に係る賠償事故は着実に減少しています。

車両事故については、主に確認不足に起因する誤操作での事故が多いので、自動車安全運転講習への参加を呼び掛けるだけでなく、令和3年度から導入した運転確認シートを今後も用いて、安全運転への意識向上を図ります。

令和5年度事故状況

(単位：件)

| | 傷害 | 賠償 | 車両 | 合計 |
|-----|-----|----|----|-----|
| 5年度 | 22 | 13 | 6 | 41 |
| 4年度 | 37 | 7 | 9 | 53 |
| 増減 | -15 | +6 | -3 | -12 |



| 傷害事故 | | 賠償事故 | | 車両事故 | |
|---------------|----|----------------------|----|------|---|
| 転倒(途上) | 5 | 倒したり、ぶついたりして損壊 | 4 | 誤操作 | 4 |
| 墜落、転落 | 5 | 器具・用具を接触させて損壊(刈払機以外) | 3 | その他 | 2 |
| 転倒(就業中) | 4 | 飛散させた物で損壊(刈払機) | 2 | 合計 | 6 |
| 蜂、犬、蛇等に刺され噛まれ | 4 | その他 | 4 | | |
| その他 | 4 | 合計 | 13 | | |
| 合計 | 22 | | | | |

(単位：件)

令和5年度・令和6年度

さいたま市シルバー人材センター安全スローガン

- ・再確認 だろう・つもりが 事故を呼ぶ
- ・慣れ仕事 緩む気持ち が 事故のもと

事務局より

新任役員をご紹介します。
今後ともよろしくお願いいたします。



- | | | | | | | | | |
|----------|----------|-----------|------------|-----------|------------|----------|-----------|----------|
| 奥山 幸二 理事 | 飯島 進 理事 | 神谷 伸 理事 | 八田 利久 理事 | 小林 耕治 理事 | 荒木 修 理事 | 赤羽 敏夫 理事 | 渡邊 しのぶ 理事 | 津野 武文 監事 |
| 鷺見 守夫 監事 | 越智 友子 理事 | 曾我部 優子 理事 | 町田 孝良 専務理事 | 佐伯 鋼兵 理事長 | 島村 京一 副理事長 | 吉沢 浩之 理事 | 齊藤 恵子 理事 | |

編 集 後 記

本号では、令和6年度定時総会を特集しました。開催場所は南浦和のさいたま市文化センター大ホールで、総会後のお楽しみ抽選会に加えて、中断されていた会員によるアトラクションも再開されました。都合で会場に来られなかった会員の皆さんに、写真で会場の雰囲気は少しはお届け出来たでしょうか。

県下に熱中症警戒アラートが度々発出されています。就業時や外出時のみならず自宅にいるときでも注意を怠らず、この暑さを乗り切りましょう。(編集委員会)

表 紙

埼玉県警察

岩槻高齢者講習センター

高齢ドライバーの増加に伴い、運転免許証更新時に必要な「講習」と「検査」に特化した専門の施設が、今年5月27日にさいたま市岩槻区に開所しました。

検査や講習の待ち日数が軽減されるとのことです。